

第446号 (第43期、第10号)
2026年3月28日発行
光が丘ゆりの木北自治会
東京都板橋区赤塚新町三丁目
32-1-603
発行責任者 田中 奨

ゆり北

〔今号の主な記事〕

- ・板橋区下赤塚総合防災訓練 (1面)
- ・賃貸棟清掃スタッフとの懇談会 (2面)
- ・リチウムイオン電池 (2面)
- ・ゆりの木会40周年記念祝賀会 (3面)
- ・カレーサロンを開きました (3面)
- ・サロン通信 (3面)
- ・赤塚梅まつりを訪ねて (4面)

みんなで協力して、震災時、慌てず行動するために！ —板橋区下赤塚総合防災訓練が開催されました—

阪神淡路大震災が発生して31年、東日本大震災が発生してから15年、一昨年は能登半島地震が発生し、未だ復旧も道半ばの状況にあります。また、都市直下型地震もその発生の確率が今後30年間で70%と、いつ大地震が起こっても不思議はない状況となっています。

そんな中、去る3月8日に下赤塚小学校で「板橋区下赤塚地区総合防災訓練」が開催されました。防災意識の高まりもあり、約460人が参加し、例年になく家族連れや車いすでの参加が目立ちました。

当自治会では朝8時30分に、災害時の一時避難場所でもある団地内ろうそく広場に会員21人が集合し、自治会旗のもと一団となって会場まで移動しました。そして現地到着後、町会、自治会、住民防災組織から下赤塚地区の防災本部長へ到着（避難完了）報告が行われ、訓練を開始しました。

（訓練内容）

・応急担架制作・運搬訓練

2本の竹の棒と毛布で応急担架を組み立てる工程を見学し、その後、実際に参加者が実技訓練を行い、あわせて簡易型担架の説明を受けました。

・救出訓練

地震による家屋倒壊などで柱や家具、がれきの下敷きとなった人を、ジャッキやバールで救出する訓練です。救出用工具（資材）一式は、当自治会でも保有しています。（防災倉庫に保管）

・応急救護訓練

心肺蘇生のための胸骨圧迫（心臓マッサージ）の手順や方法について、人形を使用して訓練しました。強く、

早く、絶え間なく行う難しさ大変さを体験し、複数人で交代しながら継続して実施する必要性を痛感しました。また、AED操作訓練では、周りにいる人に声掛けをして役割分担を明確にしてから操作することや、電気ショック後ただちに心肺蘇生を再開する必要性を学びました。

・初期消火訓練

消火器の基本操作の説明を受け、子どもも含めて多くの参加者が実体験しました。まずは大声で「火事だ！」と知らせ、黄色の安全ピンは噴射地点に到着してから引き抜き、ホースを外して狙いを定め、レバーを引くという一連の流れを体験しました。また、団地内に設置している消火器に加え、各住居内に「マイ消火器」を設置することが望ましいとの説明を受けました。

・避難所開設～防災備品見学

マンホールトイレ（備蓄4セット）、避難所間仕切り段ボール（備蓄17セット）の説明の後、防災倉庫内の備蓄品を見学しました。保管スペースの関係で毛布類は別の備蓄倉庫に保管しているとのことでした。

・放水訓練見学

防災訓練の最後に、消防団、住民防災組織、区民消防隊による放水のデモンストレーションを見学しました。

防災訓練を通して、一人ひとりの防災意識の高まりによる「自助」の醸成、ご近所や自治会の活動も含めた「共助」の仕組みづくり、そして「自助」「共助」を支える行政による「公助」の施策により、災害に対応できる安全・安心な団地にしていくことの重要性を改めて痛感しました。

（防犯防災部）



担架での運搬訓練



ジャッキを使った救出



AED講習



初期消火訓練



避難所開設説明



備蓄倉庫見学



放水訓練

賃貸棟清掃スタッフとの懇談会（定期協議）の報告

毎年1回開催している、賃貸棟団地内で日常の清掃をしていただいているスタッフの方々との懇談会（定期協議）を、3月3日に開催しました。例年通り、スタッフの皆さんの日常の業務や懸案となっていること、気付いたことなどについてお聞きしました。

清掃スタッフの勤務体制（①スタッフ5人 ②午前中は各号棟の周辺、午後は各号棟内の清掃 ③ほかに年1回の特別清掃）は変わっていないことを確認しました。また、以下のような話が出ました。

ごみの出し方について

- ・昨年からはまったプラスチックごみの資源回収には、皆さんきちんと対応してくれている。
- ・家具やふとんなどの粗大ごみが不法投棄されることがある。
- ・外でのバーベキューのごみが分別されずに捨てられている。

- ・補強のためビニールテープなどをぐるぐる巻きにした段ボールはリサイクルできないため、可燃ごみに入れてほしい。

その他

- ・清掃用の竹ぼうきやトイレトーパーが持ち去られることがある。
- ・12号棟集会室は毎週火曜日に清掃
- ・備品チェックをしているが、利用後の清掃も忘れないでほしい。
- ・13号棟の通路のタイルが滑りやすいという声がある。

清潔な団地の維持には、住民の理解と協力が欠かせません。そのために日々働いてくださっているスタッフの方々がいることを忘れず、暮らしていきたいものです。いつまでも清潔で住みよい団地であり続けるため、皆さまのご協力をお願いいたします。（生活環境部）

リチウムイオン電池

正しく使って、正しく破棄することで火災を防ぎましょう

リチウムイオン電池火災を防ぐ6つのポイント

- ①製品に衝撃を与えない、むやみに分解しない
- ②整理整頓された場所で充電する
- ③製造事業者が指定する充電器やバッテリーを使用する
- ④膨張、充電できない、バッテリーの減りが早くなった、充電中に熱くなるなど異常がある場合は使用をやめ、製造業者や販売店に相談する
- ⑤熱のこもりやすい場所での使用は控える
- ⑥万が一の被害に備え不燃性のケースなどに収納する



電池の種類	処分方法
乾電池（アルカリ、マンガン電池）	不燃ごみ
コイン型電池（リチウム電池） （型番がCR、BRの電池）	不燃ごみ
ボタン型電池（型番がSR、PR、LRの電池）	ボタン電池回収缶を設置している回収協力店設置場所 などの詳細は一般社団法人電池工業会ボタン電池回収 推進センターのホームページをご確認ください
小型充電式電池 （ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池）	小型充電式電池リサイクルボックスを設置している回収協力店にお持ちください。設置場所などの詳細は一般社団法人JBRCのホームページをご確認ください。
小型シールド鉛蓄電池（バイクなどのバッテリー）	区では回収していません。メーカー、販売店にお問い合わせしてください。

※一般社団法人JBRCで引き取り出来ない品目の処分については区へお問い合わせください。

- (1) リサイクルマークがついていないもの
- (2) JBRC会員企業外品やメーカー不明品
- (3) 破損、水漏れや膨張等の異常のあるものなど

問合せ先

板橋区資源環境部資源環境推進課清掃事業係
連絡先 03-3579-2218

※最新の情報は、区役所ホームページをご確認ください。



消防しむらNo.167より引用



ゆりの木会新年会・40周年記念祝賀会報告

ゆりの木会の新年会ならびに40周年記念祝賀会が、2月8日(日)に赤塚新町光が丘集会所で開催されました。当日は雪の舞う寒さの中、125名の会員のうち66名の方にご参加いただきました。

また、日頃よりお世話になっているゆりの木自治会の役員の方にもご出席いただきました。

40周年という節目の年を迎え、藤田会長の開会挨拶に続いて、ゆりの木自治会の菅原副会長よりご挨拶と乾杯のご発声いただきました。

懇親会では、参加者の皆さまが昔話に花を咲かせながら、和やかでにぎやかな雰囲気の中、美味しい食事とお酒を楽しんでいました。

前会長の本部さんからは、1998年のゆりの木会発足から現在までの会員数の推移や歴代会長についての説明もあり、会の歩みを振り返る貴重な時間となりました。

最後は参加者全員で歌を歌って楽しみ、終始笑いの絶えない温かな祝賀会となりました。
(ゆりの木会)



カレーサロンを開きました

2026年2月13日(金)、5号棟集会所で4回目となるカレーサロンを開催しました。今回は大人(高校生以上)の料金を300円に値上げしましたが、その他はこれまでどおりの価格とし、限定50食を当日13時半から調理しました。

事前にI-Kidsやコスモメイト保育園、ゆりの木保育園、ゆりの木児童館に加え、新町小学校にも訪問してポスター掲示をお願いしました。そのおかげもあり、当日は多くの方にお越しいただきました。

調理はボランティアの主婦の皆さんが担当し、手際よく和やかな雰囲気の中で準備が進みました。参加者は小学生27名、大人19名、幼児4名の計50名で、用意したカレーはすべて完売。会場は終始にぎやかな雰囲気に包まれていました。

今回は甘口と中辛の2種類を用意しましたが、2歳の幼児も完食したと聞き(少し小さめの器でしたが)、スタッフ一同とても嬉しく思いました。また、「一人暮らしではカレーを作らないので、家庭の味のカレーが食べられてうれしい」「知人や顔見知りの方と一緒に食事ができて楽しかった」といった声も寄せられ、カレーサロンが交流の場になっていることを実感しました。

スタッフの皆さん、お疲れさまでした。

次年度は6月19日(金)と10月にも開催を予定しています。詳細は自治会広報「ゆり北」でお知らせします。
(福祉部)



受付



カレーサロン風景



サロン通信

2月の映画会は、定例どおり第3水曜日の14時から開催しました。今回は、これまでの上映作品の中でも特に好評だった「海の上のピアニスト」(イタリア映画、監督ジュゼッペ・トルナトーレ、音楽エンニオ・モリコーネ)を再上映しました。当日は17名の方にご参加いただきました。1月に続いて多くの皆さまにお越しいただき、ありがとうございました。

2月25日(水)は、12号棟集会所で13時30分から、やまと診療所院長の石川医師をお招きし、「家での暮らしを支える、訪問診療と人生会議の話」と題したサロンを開催しました。当日は19名の方が参加されました。

現在は寿命が延び、長寿の方が増えていますが、その

分、さまざまな病気と向き合いながら生活されている方も多くなっています。病院では治療の必要がなくなると退院となり、自宅での生活に戻ることになります。そうしたときに大きな支えとなるのが訪問診療です。身近な医療のあり方について考えるよい機会となり、参加された皆さんも熱心に耳を傾けておられました。

3月のサロンは、25日(水)に久しぶりの「スマホ教室」を予定しています。スマートフォンの基本的な使い方や、日常生活に役立つ便利な機能などを学ぶ予定です。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

(福祉部)

梅の香りに誘われて — 赤塚梅まつりを訪ねて —

毎年3月初旬、板橋区の赤塚溜池公園では、地域の春の訪れを告げる「赤塚梅まつり」が2日間にわたって開催されます。しかし昨年に続き、今年も2月28日（土）のみの開催となりました。これまで、ゆりの木自治会も運営スタッフとして参加してきましたが、今年は自治会としての参加はなく、久しぶりに一人の来場者として祭りを見物してみることになりました。運動不足の解消も兼ねて、昼食がてら出かけることにしました。

当日は、まだ2月とは思えないほどの暖かさで、気温は20度を超える季節外れの陽気。強い風が吹く中ではありましたが、多くの人でにぎわっていました。

会場の赤塚溜池公園には約150本の梅の木が植えられており、園内をゆっくり散策すると、あちこちで梅の花がほころび、ほのかな香りが春の気配を感じさせてくれました。

散策の後は、ステージイベントを鑑賞しました。まず登場したのは赤塚第三中学校の吹奏楽部。中学生とは思えないほど完成度の高い演奏で、会場からは大きな拍手が送られていました。式典をはさんで、紅梅小学校の「大江戸ダンス連クリームソーダ」による華やかな踊りも披露され、

会場は一層盛り上がりました。

その後、公園の高台にある赤塚城址へ向かうと、鷹匠と鷹による「渡し」の実演が行われていました。本来なら鷹匠の腕に見事に舞い戻るはずの鷹ですが、この日は強風にあおられ思うように飛べず、公園内の木に止まってしまうという思わぬハプニングもあり、観客からは驚きと笑いが起きていました。

さらに、戦国武者による古式ゆかしい「着到状」「三献の義」、そして「勝ちどき」の儀式も披露され、歴史の雰囲気を感じさせる演出に見入ってしまいました。最後には鉄砲隊による演舞が行われ、迫力ある発砲音が響き渡り、会場は大きな歓声に包まれました。

この日、家を出たのは11時30分。気がつけば午後3時過ぎまで会場で過ごしていました。帰宅して歩数計を見ると、なんと8,000歩以上。梅の花を楽しみながら、久しぶりにしっかり歩いた一日となりました。

春の訪れを感じさせる梅の花と、地域の人々の活気に触れた、心地よいひとときでした。

(広報部)



ゆりの木北自治会のホームページは、以下のURLからご覧いただけます。
<https://yurikita.stars.ne.jp/>



第446号 (第43期、第10号)
2026年3月28日発行
光が丘ゆりの木北自治会
東京都板橋区赤塚新町三丁目
32-1-603
発行責任者 田中 奨

ゆり北

〔今号の主な記事〕

- ・板橋区下赤塚総合防災訓練 (1面)
- ・賃貸棟清掃スタッフとの懇談会 (2面)
- ・リチウムイオン電池 (2面)
- ・ゆりの木会40周年記念祝賀会 (3面)
- ・カレーサロンを開きました (3面)
- ・サロン通信 (3面)
- ・赤塚梅まつりを訪ねて (4面)

みんなで協力して、震災時、慌てず行動するために！ －板橋区下赤塚総合防災訓練が開催されました－

阪神淡路大震災が発生して31年、東日本大震災が発生してから15年、一昨年は能登半島地震が発生し、未だ復旧も道半ばの状況にあります。また、都市直下型地震もその発生の確率が今後30年間で70%と、いつ大地震が起こっても不思議はない状況となっています。

そんな中、去る3月8日に下赤塚小学校で「板橋区下赤塚地区総合防災訓練」が開催されました。防災意識の高まりもあり、約460人が参加し、例年になく家族連れや車いすでの参加が目立ちました。

当自治会では朝8時30分に、災害時の一時避難場所でもある団地内ろうそく広場に会員21人が集合し、自治会旗のもと一団となって会場まで移動しました。そして現地到着後、町会、自治会、住民防災組織から下赤塚地区の防災本部長へ到着（避難完了）報告が行われ、訓練を開始しました。

（訓練内容）

・応急担架制作・運搬訓練

2本の竹の棒と毛布で応急担架を組み立てる工程を見学し、その後、実際に参加者が実技訓練を行い、あわせて簡易型担架の説明を受けました。

・救出訓練

地震による家屋倒壊などで柱や家具、がれきの下敷きとなった人を、ジャッキやバールで救出する訓練です。救出用工具（資材）一式は、当自治会でも保有しています。（防災倉庫に保管）

・応急救護訓練

心肺蘇生のための胸骨圧迫（心臓マッサージ）の手順や方法について、人形を使用して訓練しました。強く、

早く、絶え間なく行う難しさ大変さを体験し、複数人で交代しながら継続して実施する必要性を痛感しました。また、AED操作訓練では、周りにいる人に声掛けをして役割分担を明確にしてから操作することや、電気ショック後ただちに心肺蘇生を再開する必要性を学びました。

・初期消火訓練

消火器の基本操作の説明を受け、子どもも含めて多くの参加者が実体験しました。まずは大声で「火事だ！」と知らせ、黄色の安全ピンは噴射地点に到着してから引き抜き、ホースを外して狙いを定め、レバーを引くという一連の流れを体験しました。また、団地内に設置している消火器に加え、各住居内に「マイ消火器」を設置することが望ましいとの説明を受けました。

・避難所開設～防災備品見学

マンホールトイレ（備蓄4セット）、避難所間仕切り段ボール（備蓄17セット）の説明の後、防災倉庫内の備蓄品を見学しました。保管スペースの関係で毛布類は別の備蓄倉庫に保管しているとのことでした。

・放水訓練見学

防災訓練の最後に、消防団、住民防災組織、区民消防隊による放水のデモンストレーションを見学しました。

防災訓練を通して、一人ひとりの防災意識の高まりによる「自助」の醸成、ご近所や自治会の活動も含めた「共助」の仕組みづくり、そして「自助」「共助」を支える行政による「公助」の施策により、災害に対応できる安全・安心な団地にしていくことの重要性を改めて痛感しました。

（防犯防災部）



担架での運搬訓練



ジャッキを使った救出



AED講習



初期消火訓練



避難所開設説明



備蓄倉庫見学



放水訓練

賃貸棟清掃スタッフとの懇談会（定期協議）の報告

毎年1回開催している、賃貸棟団地内で日常の清掃をしていただいているスタッフの方々との懇談会（定期協議）を、3月3日に開催しました。例年通り、スタッフの皆さんの日常の業務や懸案となっていること、気付いたことなどについてお聞きしました。

清掃スタッフの勤務体制（①スタッフ5人 ②午前中は各号棟の周辺、午後は各号棟内の清掃 ③ほかに年1回の特別清掃）は変わっていないことを確認しました。また、以下のような話が出ました。

ごみの出し方について

- ・昨年からはまったプラスチックごみの資源回収には、皆さんきちんと対応してくれている。
- ・家具やふとんなどの粗大ごみが不法投棄されることがある。
- ・外でのバーベキューのごみが分別されずに捨てられている。

- ・補強のためビニールテープなどをぐるぐる巻きにした段ボールはリサイクルできないため、可燃ごみに入れてほしい。

その他

- ・清掃用の竹ぼうきやトイレトーパーが持ち去られることがある。
- ・12号棟集会室は毎週火曜日に清掃
- ・備品チェックをしているが、利用後の清掃も忘れないでほしい。
- ・13号棟の通路のタイルが滑りやすいという声がある。

清潔な団地の維持には、住民の理解と協力が欠かせません。そのために日々働いてくださっているスタッフの方々がいることを忘れず、暮らしていきたいものです。いつまでも清潔で住みよい団地であり続けるため、皆さまのご協力をお願いいたします。（生活環境部）

リチウムイオン電池

正しく使って、正しく破棄することで火災を防ぎましょう

リチウムイオン電池火災を防ぐ6つのポイント

- ①製品に衝撃を与えない、むやみに分解しない
- ②整理整頓された場所で充電する
- ③製造事業者が指定する充電器やバッテリーを使用する
- ④膨張、充電できない、バッテリーの減りが早くなった、充電中に熱くなるなど異常がある場合は使用をやめ、製造業者や販売店に相談する
- ⑤熱のこもりやすい場所での使用は控える
- ⑥万が一の被害に備え不燃性のケースなどに収納する



電池の種類	処分方法
乾電池（アルカリ、マンガン電池）	不燃ごみ
コイン型電池（リチウム電池） （型番がCR、BRの電池）	不燃ごみ
ボタン型電池（型番がSR、PR、LRの電池）	ボタン電池回収缶を設置している回収協力店設置場所 などの詳細は一般社団法人電池工業会ボタン電池回収 推進センターのホームページをご確認ください
小型充電式電池 （ニカド電池、ニッケル水素電池、リチウムイオン電池）	小型充電式電池リサイクルボックスを設置している回収協力店にお持ちください。設置場所などの詳細は一般社団法人JBRCのホームページをご確認ください。
小型シールド鉛蓄電池（バイクなどのバッテリー）	区では回収していません。メーカー、販売店にお問い合わせしてください。

※一般社団法人JBRCで引き取り出来ない品目の処分については区へお問い合わせください。

- (1) リサイクルマークがついていないもの
- (2) JBRC会員企業外品やメーカー不明品
- (3) 破損、水漏れや膨張等の異常のあるものなど

問合せ先

板橋区資源環境部資源環境推進課清掃事業係
連絡先 03-3579-2218

※最新の情報は、区役所ホームページをご確認ください。



消防しむらNo.167より引用



ゆりの木会新年会・40周年記念祝賀会報告

ゆりの木会の新年会ならびに40周年記念祝賀会が、2月8日(日)に赤塚新町光が丘集会所で開催されました。当日は雪の舞う寒さの中、125名の会員のうち66名の方にご参加いただきました。

また、日頃よりお世話になっているゆりの木自治会の役員の方にもご出席いただきました。

40周年という節目の年を迎え、藤田会長の開会挨拶に続いて、ゆりの木自治会の菅原副会長よりご挨拶と乾杯のご発声をいただきました。

懇親会では、参加者の皆さまが昔話に花を咲かせながら、和やかでにぎやかな雰囲気の中、美味しい食事とお酒を楽しんでいました。

前会長の本部さんからは、1998年のゆりの木会発足から現在までの会員数の推移や歴代会長についての説明もあり、会の歩みを振り返る貴重な時間となりました。

最後は参加者全員で歌を歌って楽しみ、終始笑いの絶えない温かな祝賀会となりました。
(ゆりの木会)



カレーサロンを開きました

2026年2月13日(金)、5号棟集会所で4回目となるカレーサロンを開催しました。今回は大人(高校生以上)の料金を300円に値上げしましたが、その他はこれまでどおりの価格とし、限定50食を当日13時半から調理しました。

事前にI-Kidsやコスモメイト保育園、ゆりの木保育園、ゆりの木児童館に加え、新町小学校にも訪問してポスター掲示をお願いしました。そのおかげもあり、当日は多くの方にお越しいただきました。

調理はボランティアの主婦の皆さんが担当し、手際よく和やかな雰囲気の中で準備が進みました。参加者は小学生27名、大人19名、幼児4名の計50名で、用意したカレーはすべて完売。会場は終始にぎやかな雰囲気に包まれていました。

今回は甘口と中辛の2種類を用意しましたが、2歳の幼児も完食したと聞き(少し小さめの器でしたが)、スタッフ一同とても嬉しく思いました。また、「一人暮らしではカレーを作らないので、家庭の味のカレーが食べられてうれしい」「知人や顔見知りの方と一緒に食事ができて楽しかった」といった声も寄せられ、カレーサロンが交流の場になっていることを実感しました。

スタッフの皆さん、お疲れさまでした。

次年度は6月19日(金)と10月にも開催を予定しています。詳細は自治会広報「ゆり北」でお知らせします。
(福祉部)



受付



カレーサロン風景



サロン通信

2月の映画会は、定例どおり第3水曜日の14時から開催しました。今回は、これまでの上映作品の中でも特に好評だった「海の上のピアニスト」(イタリア映画、監督ジュゼッペ・トルナトーレ、音楽エンニオ・モリコーネ)を再上映しました。当日は17名の方にご参加いただきました。1月に続いて多くの皆さまにお越しいただき、ありがとうございました。

2月25日(水)は、12号棟集会所で13時30分から、やまと診療所院長の石川医師をお招きし、「家での暮らしを支える、訪問診療と人生会議の話」と題したサロンを開催しました。当日は19名の方が参加されました。

現在は寿命が延び、長寿の方が増えていますが、その

分、さまざまな病気と向き合いながら生活されている方も多くなっています。病院では治療の必要がなくなると退院となり、自宅での生活に戻ることになります。そうしたときに大きな支えとなるのが訪問診療です。身近な医療のあり方について考えるよい機会となり、参加された皆さんも熱心に耳を傾けておられました。

3月のサロンは、25日(水)に久しぶりの「スマホ教室」を予定しています。スマートフォンの基本的な使い方や、日常生活に役立つ便利な機能などを学ぶ予定です。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

(福祉部)

梅の香りに誘われて — 赤塚梅まつりを訪ねて —

毎年3月初旬、板橋区の赤塚溜池公園では、地域の春の訪れを告げる「赤塚梅まつり」が2日間にわたって開催されます。しかし昨年に続き、今年も2月28日（土）のみの開催となりました。これまで、ゆりの木自治会も運営スタッフとして参加してきましたが、今年は自治会としての参加はなく、久しぶりに一人の来場者として祭りを見物してみることになりました。運動不足の解消も兼ねて、昼食がてら出かけることにしました。

当日は、まだ2月とは思えないほどの暖かさで、気温は20度を超える季節外れの陽気。強い風が吹く中ではありましたが、多くの人でにぎわっていました。

会場の赤塚溜池公園には約150本の梅の木が植えられており、園内をゆっくり散策すると、あちこちで梅の花がほころび、ほのかな香りが春の気配を感じさせてくれました。

散策の後は、ステージイベントを鑑賞しました。まず登場したのは赤塚第三中学校の吹奏楽部。中学生とは思えないほど完成度の高い演奏で、会場からは大きな拍手が送られていました。式典をはさんで、紅梅小学校の「大江戸ダンス連クリームソーダ」による華やかな踊りも披露され、

会場は一層盛り上がりました。

その後、公園の高台にある赤塚城址へ向かうと、鷹匠と鷹による「渡し」の実演が行われていました。本来なら鷹匠の腕に見事に舞い戻るはずの鷹ですが、この日は強風にあおられ思うように飛べず、公園内の木に止まってしまうという思わぬハプニングもあり、観客からは驚きと笑いが起きていました。

さらに、戦国武者による古式ゆかしい「着到状」「三献の義」、そして「勝ちどき」の儀式も披露され、歴史の雰囲気を感じさせる演出に見入ってしまいました。最後には鉄砲隊による演舞が行われ、迫力ある発砲音が響き渡り、会場は大きな歓声に包まれました。

この日、家を出たのは11時30分。気がつけば午後3時過ぎまで会場で過ごしていました。帰宅して歩数計を見ると、なんと8,000歩以上。梅の花を楽しみながら、久しぶりにしっかり歩いた一日となりました。

春の訪れを感じさせる梅の花と、地域の人々の活気に触れた、心地よいひとときでした。

(広報部)



ゆりの木北自治会のホームページは、以下のURLからご覧いただけます。
<https://yurikita.stars.ne.jp/>

